

アジア最大級の環境総合展開催、全国・世界から出展社509社・1890小間が集結!

環境ビジネスの展開

第28回開催

2019 NEW 環境展

CO₂削減と新エネ・省エネビジネスの推進

第11回開催

2019 地球温暖化防止展

1. SDGsの達成に寄与する環境分野の最先端技術が大集結!
2. 廃プラスチックのリサイクル技術や雑品スクラップ対応の設備が充実!
3. AI・IoT・ドローンなどデジタル技術を駆使した近未来の産業資源循環のビジョンを紹介!

環境関連専門紙誌を発行する日報ビジネス(株)は、3月12日(火)～15日(金)の4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)東ホールで「2019NEW環境展」「2019地球温暖化防止展」を開催します。つきましては、是非ご来場いただきたく存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

・前回(2018年)来場者数:158,222人

【過去の放映・掲載実績】

NHK(ニュースシブ5時)、日本テレビ(news every.)、TBSテレビ(情報7daysニュースキャスター、あさチャン!、Nスタ)、フジテレビ(プライムニュースα)、テレビ東京(ワールドビジネスサテライト)、NHK WORLD-JAPAN(BIZ STREAM)、TOKYO MX(TOKYO MX NEWS)、富山テレビ(今こそ、エコだね。イマエコ)等
テレビ、ラジオ、インターネット、一般紙・誌、に放映・掲載していただきました。

【今回の宣伝計画】

TV・ラジオ CM

交通広告 車内中吊り広告:JR北海道、札幌市営地下鉄、JR東日本(仙台エリア・東京エリア)、東京メトロ、JR東海(静岡エリア)、名古屋市営地下鉄、大阪メトロ、JR西日本(関西エリア・北陸エリア・岡山エリア・広島エリア)、JR四国、福岡市営地下鉄、沖縄ゆいレール

駅貼り広告:JR東日本 品川駅、大阪メトロ 本町駅

新聞広告 日本経済新聞、日経産業新聞、循環経済新聞、包装タイムス 他

インターネット広告配信(国内・海外) Yahoo!、Google

【お問い合わせ先】

名称 日報ビジネス株式会社

住所 東京都千代田区神田三崎町3-1-5 神田三崎町ビル

TEL 03-3262-3562

携帯 080-3112-9849

E-mail nishimura@nippo-biz.co.jp

発行媒体 週刊循環経済新聞/月刊廃棄物/隔月刊イー・コンテクチャー/隔月刊地球温暖化/メルマガ産廃NEXT

2019NEW環境展 2019地球温暖化防止展



名 称	2019NEW環境展 (N-EXPO 2019)
テ ー マ	環境ビジネスの展開
目 的	企業の社会的責任が問われる時代に入り、環境との共生を無視しては企業の存続すら危ぶまれる時代になりました。また持続可能な循環型社会の構築にむけ環境汚染問題や地球温暖化問題の解決は避けて通れない課題です。とりわけ資源有効利用や多様な新エネルギーの活用は、環境対策にとり最重要の取り組みです。そうした中、各種課題に対応する様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信する事により環境保全への啓発を行い、国民生活の安定と環境関連産業の発展を目的とします。
主 催	日報ビジネス株式会社 (週刊循環経済新聞/月刊廃棄物/隔月刊イー・コンテクチャー/隔月刊地球温暖化/メルマガ産廃NEXT)
後 援	環境省、国土交通省、農林水産省、経済産業省、文部科学省、東京都、日本商工会議所、東京商工会議所、一般社団法人廃棄物資源循環学会、在日ドイツ商工会議所、KOTRA (大韓貿易投資振興公社) 大阪貿易館、TAITRA (台湾貿易センター)
協 賛	アルミ缶リサイクル協会、飲料用紙容器リサイクル協議会、一般社団法人エコステージ協会、塩ビ工業・環境協会、一般財団法人家電製品協会、紙製容器包装リサイクル推進協議会、ガラスびん3R促進協議会、公益社団法人環境生活文化機構、公益財団法人北九州産業学術推進機構、建設副産物リサイクル広報推進会議、公益社団法人国土緑化推進機構、一般社団法人産業環境管理協会、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団、一般社団法人JBRC、特定非営利活動法人持続可能な社会をつくる元気ネット、一般社団法人住宅生産団体連合会、公益社団法人食品容器環境美化協会、一般財団法人新エネルギー財団、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、スチール缶リサイクル協会、公益社団法人全国解体工事業団体連合会、全国環境整備事業協同組合連合会、公益社団法人全国産業廃棄物連合会、全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会、公益社団法人全国都市清掃会議、特定非営利活動法人全国廃棄物教育センター連合会、特定非営利活動法人全国木材資源リサイクル協会連合会、特定非営利活動法人全日本自動車リサイクル事業連合、全日本プラスチックリサイクル工業会、段ボールリサイクル協議会、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、一般社団法人東京都産業廃棄物協会、一般社団法人土壌環境センター、特定非営利活動法人生ごみリサイクル全国ネットワーク、一般社団法人日本RPF工業会、一般社団法人日本汚染土壌処理業協会、一般社団法人日本ガス協会、一般社団法人日本環境衛生施設工業会、一般財団法人日本環境衛生センター、公益財団法人日本環境協会、一般社団法人日本環境保全協会、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会、一般社団法人日本建設機械工業会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人日本小形風力発電協会、日本再生資源事業協同組合連合会、一般社団法人日本産業機械工業会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、公益財団法人日本生態系協会、一般社団法人日本鉄リサイクル工業会、一般社団法人日本廃棄物コンサルタント協会、一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会、一般社団法人日本風力発電協会、一般社団法人日本有機資源協会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、公益財団法人廃棄物・3R研究財団、公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター、一般社団法人プラスチック循環利用協会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、PETボトルリサイクル推進協議会、有害・医療廃棄物研究会
会 期	2019年3月12日(火)～15日(金)4日間
時 間	午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
会 場	東京ビッグサイト 東展示棟、屋外会場(東京都江東区有明3-10-1)
展示規模	408社 1710小間(509社、1890小間 ^(※1))
動員計画	16万人 ^(※1)
入 場 料	1,000円(税込) ^(※1)

(※1) 地球温暖化防止展と合わせて

- 名 称** 2019地球温暖化防止展 (GWPE 2019)
- テ ー マ** CO₂削減と新エネ・省エネビジネスの推進
- 目 的** 企業の社会的責任が問われる時代に入り、環境との共生を無視しては企業の存続すら危ぶまれる時代になりました。また持続可能な低炭素社会の構築に向け、地球温暖化問題やエネルギー問題の解決は避けて通れない課題です。とりわけ省エネルギーや再生可能エネルギー、ヒートアイランド技術、CO₂排出削減技術の活用は温暖化対策にとり最重要の取り組みです。そうした中、各種課題に対応する様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信する事により環境保全啓発を行い、国民生活の安定と環境・温暖化防止関連産業の発展を目的とします。
- 主 催** 日報ビジネス株式会社
(週刊循環経済新聞/月刊廃棄物/隔月刊イー・コンテクチャー/隔月刊地球温暖化/メルマガ産廃NEXT)
- 後 援** 環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、東京都、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(全国地球温暖化防止活動推進センター)、在日ドイツ商工会議所、KOTRA(大韓貿易投資振興公社)大阪貿易館、TAITRA(台湾貿易センター)
- 協 賛** 特定非営利活動法人雨水市民の会、公益社団法人国土緑化推進機構、一般社団法人産業環境管理協会、一般社団法人住宅生産団体連合会、一般財団法人新エネルギー財団、全国小水力利用推進協議会、一般社団法人太陽光発電協会、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、公益財団法人地球環境戦略研究機関、特定非営利活動法人地中熱利用促進協会、一般社団法人日本エネルギー学会、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人日本小形風力発電協会、公益財団法人日本生態系協会、一般社団法人日本太陽光メンテナンス協会、一般社団法人日本風力発電協会、一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会
- 会 期** 2019年3月12日(火)～15日(金)4日間
- 時 間** 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
- 会 場** 東京ビッグサイト 東展示棟、屋外会場(東京都江東区有明3-10-1)
- 展示規模** 101社 180小間(509社、1890小間^(※2))
- 動員計画** 16万人^(※2)
- 入 場 料** 1,000円(税込)^(※2)
- (※2) NEW環境展と合わせて



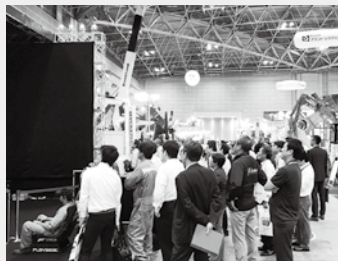
AIやIoT、衛星ナビが環境ビジネスを変える！ 廃棄物の超高度自動選別、遠隔操作、回収最適化が登場 激動の国際資源循環、国内外のプラスチックリサイクル技術ずらり

ピックアップ
1

ますます進む AI、自動化、省人化

“AI搭載の選別機が容器包装を自動選別し、準天頂衛星ピンポイントナビが廃棄物回収を効率化する！”

廃棄物回収やリサイクルのビジネスでも省人化や高効率化が求められています。



今回は、人口知能(AI)を搭載し、アルミ缶や発泡スチロールなどの光学選別する小型装置の実機が登場し



ます。リモートコントロールができる自走式小型牽引トラックも紹介されます。

準天頂衛星みちびきに対応して一般廃棄物などの回収をサポートするクラウドピンポイントナビシステム、無人化施工ロボット、ドローンに搭載された三次元計測システムなども出展されます。

ピックアップ
2

国際資源循環の規制急展開、 新たな段階を切り拓く

“中国などアジアで国際資源循環が大転換、プラスチックなどの再資源化を高度化する！”

中国や台湾、東南アジア諸国でプラスチックなどの再生資源に係る輸入規制が刻々と変化しています。



高性能の破砕機や欧州やアジアの高品質再生プラスチックペレット加工装置、“PETボトル to PETボトル”などの取り組みが勢ぞろいします。

ピックアップ
3

有機性廃棄物や 木質・農業系バイオマスの利活用を活性化

“廃棄物・バイオマスを活用し、新たなエネルギービジネスを活性化する！”

世界情勢が激変する中、廃棄物・バイオマス由来のエネルギー創出事業の重要性が増しています。



日本などの実情に応えた新たな破砕機や木質バイオマス・有機性廃棄物などからのエネルギー回収システムを紹介いたします。

G20に向けて日本から3Rの新たな姿を発信する！



今年6月には日本でG20(金融・世界経済に関する首脳会合)が開催され、国から海洋ごみ対策も視野に入れた「プラスチック資源循環戦略」が打ち出されます。日本発の3R(リデュース(廃棄物発生

抑制削)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化))を新たなステージに向上させる技術やサービスを是非展示会場でご覧ください。

詳しくはこちら!!

2019NEW環境展



<http://www.nippo.co.jp/n-expo019/>

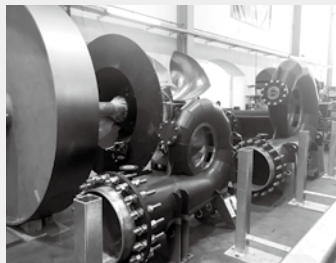
再エネ選択と省エネ推進で地球温暖化防止・抑制を！ 経済性、持続性、安全性。ぜひ見定めてみてください！！

ピックアップ
1

“未利用”だからお得です

蒸気発電、小水力発電、バイオマス・バイオガスコージェネシステムなど

再生可能エネルギーというと、太陽や風など自然の力をエネルギーに変えるものを思い出しますが、「今まで捨てていたもの」がエネルギーに変わる再生



可能エネルギーもたくさんあります。

例えば、工場の製造プロセスで出される蒸気や温水を利用する蒸気発電や温度差発電と呼ばれる発電、上



から下へ流れる水の落差と流量を活用した小水力発電などが代表的です。また、有機性廃棄物を原料にしたバイオガス発電、木質バイオマスを使った電気・熱の併給システムなどもあります。こうした“未利用”エネルギー源を使うからこそ、お得でエネルギー創出の価値も高まります。

ピックアップ
2

安全・安心を担保した持続性商品

蓄電池の搭載、見守り機能の付価など

地球温暖化によって大規模化している水災害などから、自らの身をいかに守れるかが問われています。電気は、配電されたものを使うのみならず、自ら発電することも増えました。蓄電池の活用によって、



平時には通常利用しながらも、非常時や災害時は貯めた電気を使用できる安全・安心を兼ね備えた持続性商品に納得させられます。

ピックアップ
3

オリ・パラを見据えた猛暑対策

遮熱材、大型ファン、機能性衣料など

展示会が開催される3月の外気は冷たいですが、場内には“災害級”ともされる日本の暑さに対応する製品やサービスが勢ぞろいします。遮熱材や大型ファン・冷風機、機能性衣料・帽子など、用途に応じて比較できるの



も「地球温暖化防止・抑制」をめざす商品・サービス群が集まる『地球温暖化展』ならではの特徴です。

パリ協定、SDGsも、まずは足元の取り組みから

2018年12月の国連気候変動枠組条約第24回締約国会議(COP24)では、パリ協定のルールブックが作成されました。政策指針や企業行動のターゲットなどとして、SDGsも加速度的に広がってきています。

地球温暖化防止や抑制への取り組みは、こうしたグローバルな視点を持ちながら、何をすべきかという行動「Think

Globally, Act Locally」です。地球温暖化防止展は、「今」そして「未来」の社会に必要とされる持続可能な温暖化対策技術を身近に感じられることが最大の魅力です。

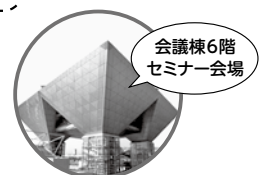
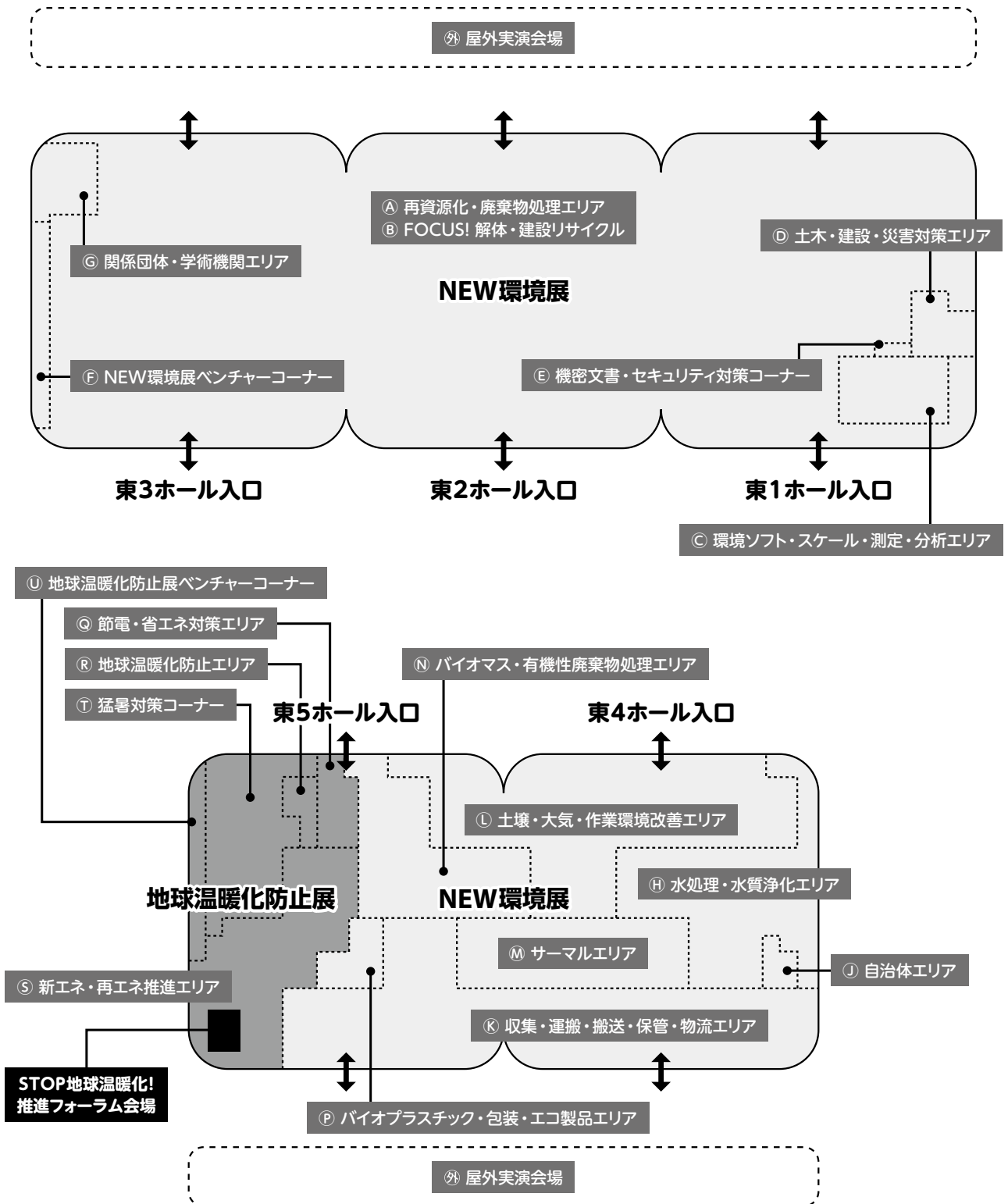
詳しくはこちら!!

2019地球温暖化防止展



<http://www.nippo.co.jp/stop-ondanka19/>

展示エリア構成



※2019NEW環境展記念セミナーは会議棟6階で開催

■ 2019 NEW環境展 記念セミナー

会場：東京ビッグサイト 会議棟6階

※プログラムは2019年1月30日現在の予定です。追加・変更になる場合があります。
※参加ご希望の方は直接会場までお越しください。ただし定員となり次第締切とします。

	日時	講座番号	テーマ	受講料(税込) お一人様
3月12日※	13:30~16:30	講座1	木質バイオマス利用(熱利用・熱電併給)と地方創生	10,000円
	13:30~16:30	講座2	明日からできる業務効率化と省人・省力化の好事例 ~動向と事例~	10,000円
3月13日※	10:00~16:00	講座3	中国・東南アジア輸入規制の急展開と廃プラリサイクル・処理	15,000円
	10:00~16:00	講座4	食品リサイクルビジネスの新たなステージ ~飼料化・バイオガス化の展開方向~	15,000円
3月14日※	10:00~16:00	講座5	新時代を迎える処理困難物の処理・リサイクル	15,000円
	10:00~16:00	講座6	焼却・最終処分の今後と燃え殻ばいじんリサイクル	15,000円
3月15日※	10:00~16:00	講座7	高齢化社会に対応する遺品整理・お片づけビジネスの着眼点	15,000円
	10:00~16:00	講座8	2019年転換期に廃棄物処理法はどう対応するか ~違反事例と罰則~	15,000円

■ 2019 STOP地球温暖化! 推進フォーラム

会場：「2019地球温暖化防止展」東5展示ホール内(小間番号 S531)

※プログラムは2019年1月30日現在の予定です。追加・変更になる場合があります。
※同フォーラムは3月8日(金)10時までの事前申込制です。定員に満たない場合は当日参加が可能です。
※参加費はセッションごとに、当日現地でのお支払いをお願いします。

	日時	セッション	テーマ	参加費(資料代・税込) お一人様
3月12日※	10:30~11:30	1	特別講演 「パリ協定とSDGsの経済的インパクト ~脱炭素社会をめざす企業・自治体の役割」	1,000円
	13:00~14:00	2	「太陽光発電事業をめぐる最新動向」	1,000円
	15:00~16:00	3	「小水力発電 事業化への道程」	1,000円
3月13日※	10:30~11:30	4	「パリ協定実現へ COP24開催報告 ~ビジネス市場の変化を捉えて」	1,000円
	13:00~14:00	5	「エネルギーコスト削減とCO ₂ 削減につながる省エネの推進」	1,000円
	15:00~16:00	6	「導入が進む! 省エネとランニングコストで稼ぐ地中熱利用システム」	1,000円
3月14日※	10:30~11:30	7	「パリ協定の実現へ 環境省の温暖化施策、支援策」	1,000円
	13:00~14:00	8	「系統制約の規制緩和 ~集中電源から分散電源、再エネの大量導入に向けて」	1,000円
	15:00~16:00	9	「自治体新電力の台頭と地域創生 ~気候変動時代のエネルギー事業」	1,000円
3月15日※	10:30~11:30	10	「再生可能エネルギーをめぐる最新動向」	1,000円
	13:00~14:00	11	「地域資源を活かした木質バイオマス発電・熱利用」	1,000円

同会場で行われるその他イベント

3月15日※	14:30~15:30	香港環境ビジネスセミナー 世界のベイエリア経済圏の始動 ~グレーターベイエリア構想と新たなビジネス展開の可能性 ~ 【主催】香港貿易発展局 【定員】60名(事前登録制、先着順) 【問い合わせ】香港貿易発展局 東京事務所 Tel.03-5210-7150	無料
--------	-------------	--	----



ECOた3うくんがLINE@ & Facebookはじめました！
「友だち」になると、展示会・記念セミナーの
お得な情報をいち早くお届け！！



NEW環境展ECOキャラ



ID: @eco-tarokun



<https://www.facebook.com/nippo.biz/>

主催：  **日報ビジネス** 株式会社

週刊循環経済新聞 / 月刊廃棄物 / 隔月刊イー・コンテクチャー / 隔月刊地球温暖化 / メルマガ産廃NEXT

東京 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5 神田三崎町ビル Tel. 03 (3262) 3562 Fax. 03 (5214) 6633
大阪 〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11 カセンビル Tel. 06 (6265) 9106 Fax. 06 (6265) 9105

<http://www.nippo.co.jp/>